

2017年3月期(FY2016)  
第2四半期  
連結決算報告

---



大幸薬品

2016年11月  
大幸薬品株式会社



- 売上高は対前年同期比減も、営業利益は対前年同期比増
- 医薬品事業減収の一方、感染管理事業は増収

# 連結經營成績

# 連結経営成績サマリー

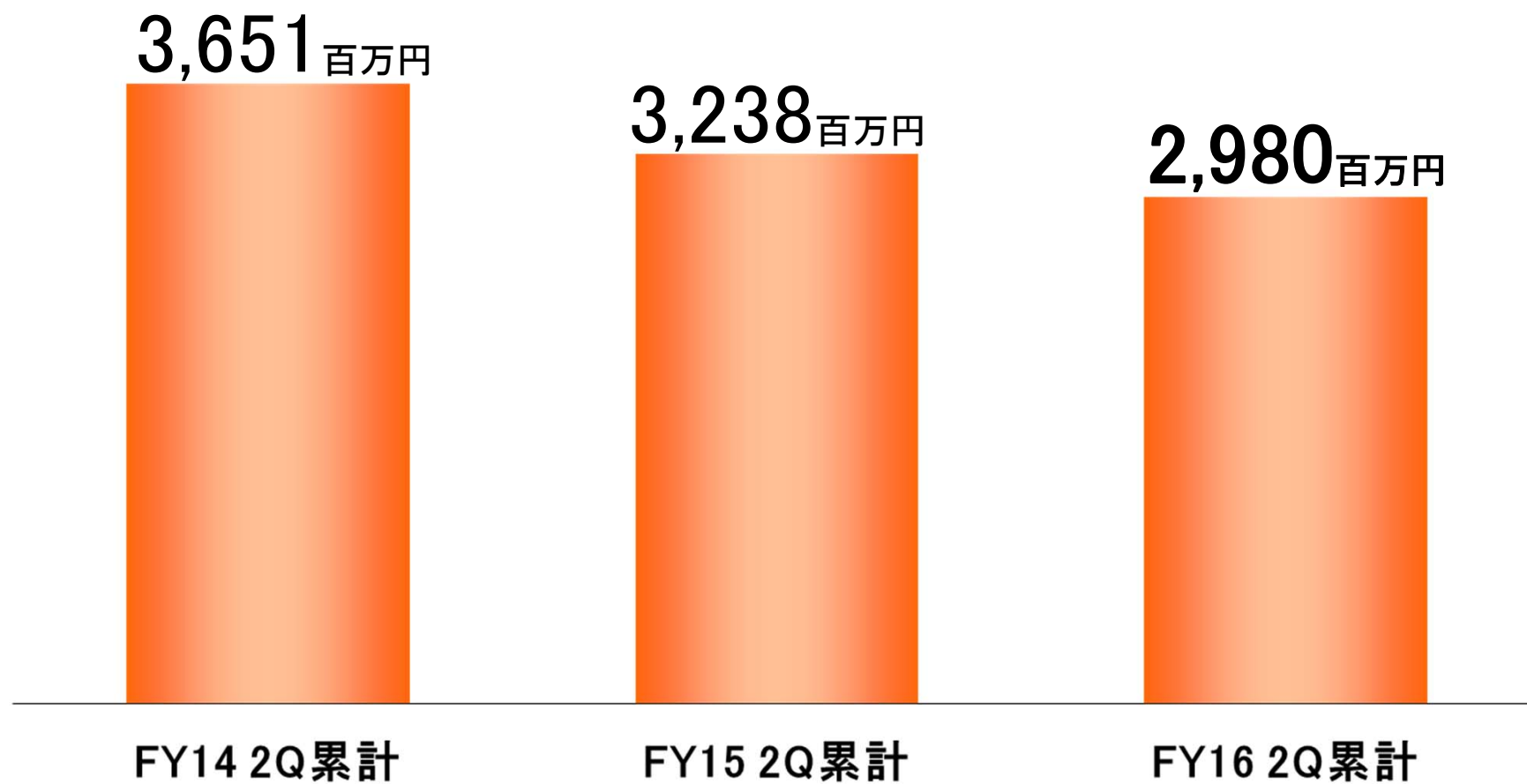
- 医薬品事業：国内、海外共に売上高は対前年同期比減
- 感染管理事業：一般用、業務用共に売上高は対前年同期比増
- 営業利益、四半期純利益共に対前年同期比増

単位：百万円

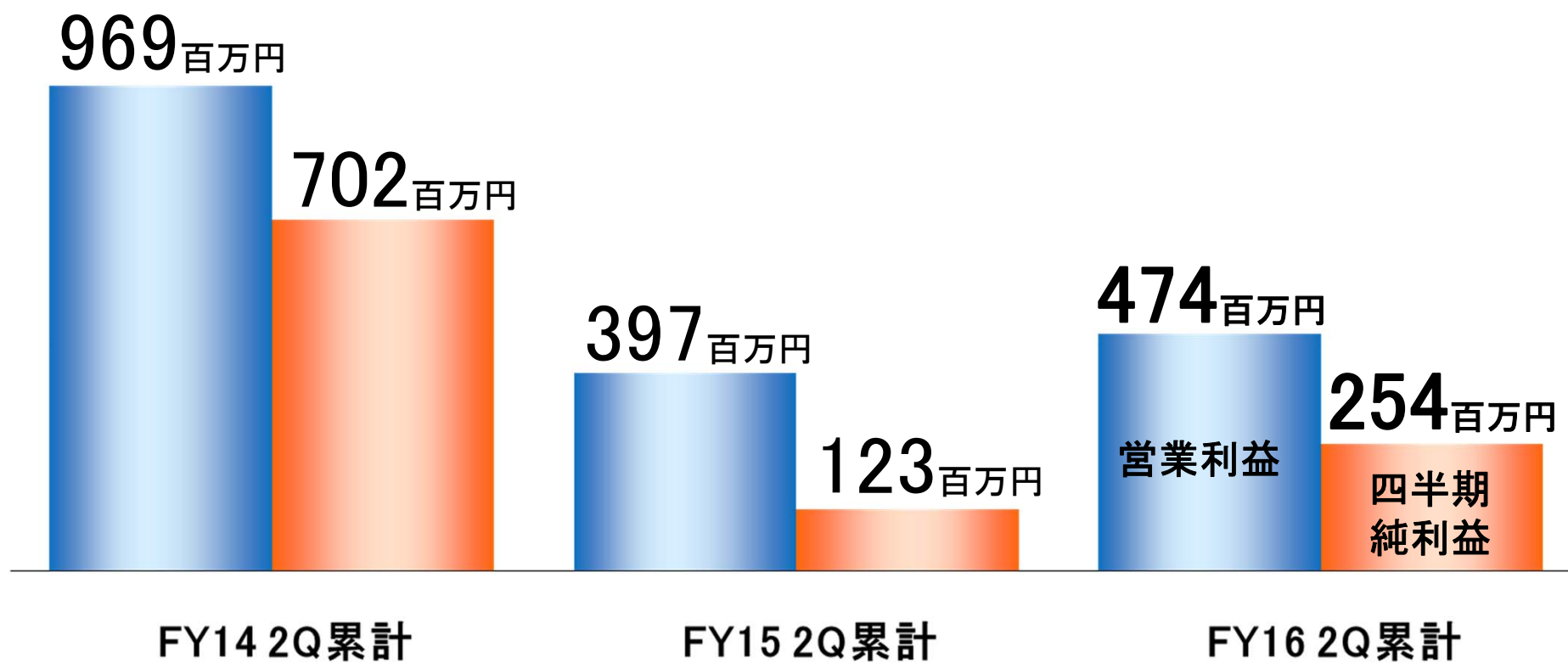
	FY15 2Q累計	FY16 2Q累計	増減	増減率	増減要因等
売上高	3,238	2,980	△257	△8.0%	医薬品)対前年同期比717百万円減 感染管理)対前年同期比464百万円増
売上原価(※) (売上高比率)	919 (28.4%)	924 (31.0%)	4	0.5%	
売上総利益 (売上高比率)	2,318 (71.6%)	2,055 (69.0%)	△262 (△2.6P)	△11.3%	医薬品事業の減収、上海工場閉鎖及び 円高影響等により粗利減少
販売費及び 一般管理費	1,920	1,581	△339	△17.7%	販売費の減少等
営業利益 (売上高比率)	397 (12.3%)	474 (15.9%)	76	19.2%	
経常利益 (売上高比率)	405 (12.5%)	318 (10.7%)	△86	△21.3%	当2Q:未稼働設備関連費用123百万円計上 為替差損は対前年同期比35百万円増
四半期純利益 (売上高比率)	123 (3.8%)	254 (8.5%)	131	106.2%	当2Q:新株予約権戻入益32百万円計上 前2Q:工場移転費用189百万円計上

(※) 返品調整引当金計上後の売上原価

# 連結売上高推移



# 連結営業利益・四半期純利益推移



# 販売費及び一般管理費

## ▶ 広告宣伝費の減少等により対前年同期比減

単位：百万円

	FY15 2Q累計	売上高 比率	FY16 2Q累計	売上高 比率	増減	増減率	増減要因等
販売費	764	23.6%	469	15.8%	△295	△38.6%	
広告宣伝費	435	13.5%	192	6.5%	△243	△55.9%	医薬品)207百万円減 感染管理)33百万円減
販売促進費	214	6.6%	196	6.6%	△17	△8.2%	
運送費	114	3.5%	80	2.7%	△34	△29.7%	
人件費	617	19.1%	621	20.8%	4	0.7%	
その他経費	538	16.6%	490	16.5%	△48	△9.0%	
研究開発費	128	4.0%	119	4.0%	△8	△6.7%	
支払手数料	117	3.6%	86	2.9%	△30	△26.2%	
計	1,920	59.3%	1,581	53.1%	△339	△17.7%	

# 連結財政状態

➤アース製薬との資本業務提携により現金及び預金、純資産が増加

単位:百万円

	FY15 期末	FY16 2Q期末	増減	増減率	増減要因等
流動資産	7,432	8,212	779	10.5%	
現金及び預金	2,996	3,892	895	29.9%	アース製薬に対する自己株式処分等
売上債権	2,196	2,206	10	0.5%	
たな卸資産	1,757	1,908	151	8.6%	
固定資産	8,874	8,765	△109	△1.2%	
資産合計	16,307	16,977	670	4.1%	
流動負債	2,007	1,482	△524	△26.1%	未払金及び未払法人税等の減少
仕入債務	239	418	179	75.1%	
固定負債	1,159	1,168	8	0.8%	
純資産	13,139	14,326	1,186	9.0%	アース製薬に対する自己株式処分等
負債純資産合計	16,307	16,977	670	4.1%	
自己資本比率	80.1%	84.2%			



# 連結キャッシュ・フロー状況

## ➤アース製薬との資本業務提携によりキャッシュ残高増加

単位:百万円

	FY15 2Q累計	FY16 2Q累計	主な要因	
営業CF	△1,442	112	EBITDA	691百万円
			未収消費税等の減少	335百万円
			未払金の減少	△415百万円
			法人税等の支払	△213百万円
			たな卸資産の増加	△153百万円
投資CF	△2,772	△330	定期預金の増加	△203百万円
財務CF	741	1,056	自己株式処分による収入	1,214百万円
			配当	△195百万円
現金・同等物換算差額	△7	△127		
キャッシュ増減(※1)	△3,481	710		
キャッシュ期末残高	1,957	3,707		
EBITDA(※2)	521	691	営業利益	474百万円
			減価償却費	217百万円

(※1) キャッシュ増減

= 営業CF + 投資CF + 財務CF + 現金・同等物換算差額

(※2) EBITDA

= 営業利益 + 減価償却費

# セグメント情報

# セグメント別事業概況(連結損益サマリー)

- 医薬品事業: 減収減益
- 感染管理事業: 増収増益

単位: 百万円

	売上高			営業利益			
	FY15 2Q累計	FY16 2Q累計	増減率	FY15 2Q累計	利益率	FY16 2Q累計	利益率
医薬品事業	2,960	2,242	△24.2%	1,198	40.5%	972	43.4%
感染管理事業	265	729	175.0%	△ 265	—	36	4.9%
その他事業	12	8	△37.7%	△10	—	△10	—
全社(※)	—	—	—	△524	—	△523	—
連結合計	3,238	2,980	△8.0%	397	12.3%	474	15.9%

(※) 全社に係るコスト(主に管理部門コスト)

# セグメント別事業概況(医薬品事業/国内)

- 止瀉薬市場の停滞を背景に、期首の流通在庫が高水準にあったこと  
当社シェアの減少等から減収
- なお、流通在庫水準は2Q末時点で正常化



正露丸



セイロガン糖衣A

(※) その他医薬品



ピシャット錠

## 製品カテゴリー別売上高

単位: 百万円

	FY15 2Q累計	FY16 2Q累計	増減	増減率
正露丸	1,035	817	△218	△21.1%
セイロガン糖衣A	1,124	972	△151	△13.5%
その他(※)	90	21	△69	△76.3%
計	2,250	1,811	△438	△19.5%

(※) 整腸薬『ラッパ整腸薬BF』、止瀉薬『ピシャット錠』等

## 当社の国内止瀉薬市場シェア

出所: (株)インテージ 調査データ

店頭小売価格ベース	FY15 2Q累計	FY16 2Q累計	増減
市場シェア	50.3%	47.3%	△3.0P

売上高減少4億円のうち当社のシェア減少影響: 推定約1億円\*

\* 出所: (株)インテージデータから当社試算

# セグメント別事業概況(医薬品事業/海外)

- 中国市場は輸出に必要なライセンス更新完了を受けて出荷準備中  
(当期中の出荷再開確定)
- 香港市場は出荷時期変更等により対前年同期比減

## 地域別売上高

単位:百万円

	FY15 2Q累計	FY16 2Q累計	増減	増減率
中国	99	-	△99	△100.0%
香港	479	334	△144	△30.2%
台湾	113	71	△41	△36.9%
その他(※)	17	25	7	40.4%
計	709	431	△278	△39.2%



正露丸



セイロガン糖衣A

(※) その他の対象エリア:

米国、カナダ、タイ、マレーシア、インドネシア、ベトナム、モンゴル

# セグメント別事業概況(感染管理事業)

- 流通在庫が正常化し、インフル流行等に備える小売店から受注増加
- 当社製品の店頭販売額(POS)は対前年同期比11%増と好調な推移



新製品クレベリン×ベアブリック



クレベリン ゲル

クレベリン スプレー



クレベリン  
パワーセイバー  
ペンタイプ



クレベリン LED  
カートリッジ



**DENSO**  
車両用クレベリン



クレベリン発生機  
リスパス NEO

## 製品カテゴリー別売上高

単位:百万円

	FY15 2Q累計	FY16 2Q累計	増減	増減率
ゲル剤	103	518	415	402.5%
液剤	22	82	60	273.2%
クレベリン発生機(※)	139	127	△12	△8.7%
計	265	729	464	175.0%

(※)低濃度二酸化塩素ガス発生装置、クレベリン LED

## 対象顧客別売上高

単位:百万円

	FY15 2Q累計	構成比	FY16 2Q累計	構成比	増減	増減率
一般用	30	11.5%	492	67.5%	461	1,511.3%
業務用	234	88.5%	236	32.5%	2	0.9%
計	265	100.0%	729	100.0%	464	175.0%

# セグメント別事業概況(その他事業)

➤ 木酢液を配合した入浴液、園芸用木酢液等を製造販売



木酢入浴液



木酢液

## 製品売上高

単位：百万円

	FY15 2Q累計	FY16 2Q累計	増減	増減率
木酢製品等	12	8	△4	△37.7%

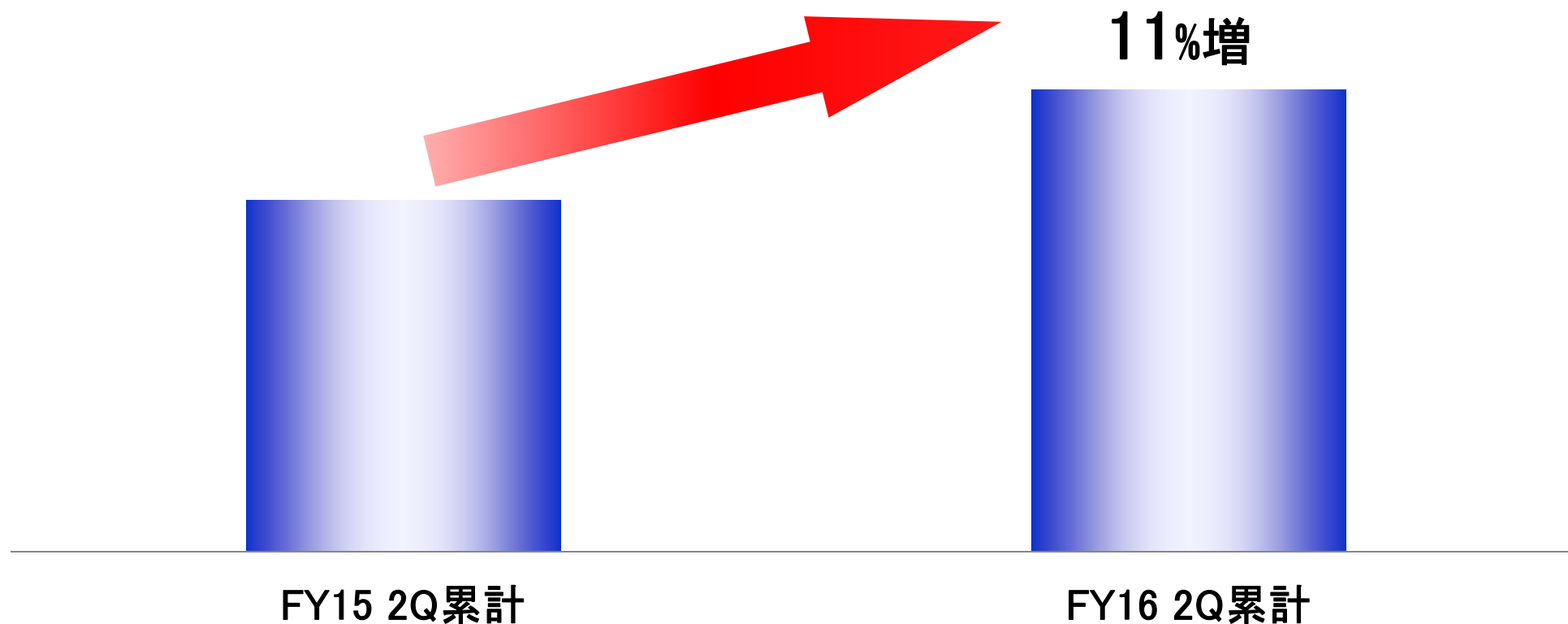
# 參考資料



## (参考資料) 感染管理事業

- 二酸化塩素製品市場は前年同期比10%成長
- 当社製品の店頭販売額(POS)は対前年同期比11%増と好調に推移

### 当社製品の店頭販売額(POS)動向



出所: (株)インテージデータ

# (参考資料) 感染管理事業

## 「クレベリン LED」搭載家電一覧

➤ 2016年10月に新加湿器1機種を販売開始し、製品ラインアップが充実

製品写真						
機種名	加湿器	加湿器	空間清浄機	サーキュレーター	サーキュレーター	加湿器
製造メーカー	ドウシシャ製	ドウシシャ製	アクア/amadana製	ドウシシャ製	ドン・キホーテPB商品	ドウシシャ製
発売日	2015年11月	2015年11月	2016年1月	2016年5月	2016年5月	2016年10月

## (参考資料) 新規案件

第1四半期決算で公表した新規案件は順調な進捗

### < 自社新製品開発 >

	内容	販売開始時期
医薬品	新製品(新剤型の止瀉薬)開発	開発中
感染管理	クレベリン新バージョン開発(ベアブリック)	<b>販売開始(10月)</b>

### < 他社とのアライアンスによる新規事業 >

提携先	内容	販売開始時期
アース製薬	感染管理 新製品共同開発	開発中
A社	感染管理 ペット系新製品共同開発	当期末～来期初

### < 新規販売チャネル開拓 >

提携先	内容	販売開始時期
エーエヌディー	感染管理 資本提携(7月)。病院向け既存製品販売	<b>テスト販売(9月)</b>

※現時点では、上記事業による業績の修正はありません。



# 大幸薬品

## ＜将来情報に関する注意事項＞

当資料に記載されている将来情報は、種々の前提に基づくものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証するものではありません。